

TFT LCD カラー コンピューター ディスプレイ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」、および「クイックセットアップガイド」をよくお読み
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**SDM-HS75P/
SDM-HS95P /R**








この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しております。

目次

使用上のご注意	4
各部の名前とはたらき	5
接続と設定	7
手順1: スタンドを開く	7
手順2: コンピュータにつなぐ	7
手順3: 電源コードをつなぐ	8
手順4: コード類をまとめてバックカバーを閉める	8
手順5: 電源を入れる	9
ディスプレイの向きを変える	9
入力を切り換えるには (INPUTボタン)	10
調整する	11
メニュー操作のしかた	11
 画質メニュー	11
 画調整メニュー (アナログRGB信号のみ)	14
 メニュー位置メニュー	15
 自動入力センサーメニュー	15
 言語選択メニュー	16
 リセットメニュー (お買い上げ時の設定に戻す)	16
 メニューロック	16
機能解説	17
省電力機能 (パワーセーブ機能)	17
モード (画質) の切り換えを行う	17
自動輝度調整機能 (ブライトセンサー)	17
自動画質調整機能 (アナログRGB信号のみ)	18
故障かな?と思ったら	18
表示メッセージについて	18
本機の症状と対処のしかた	20
保証書とアフターサービス	22
保証書	22
アフターサービスについて	22
主な仕様	23

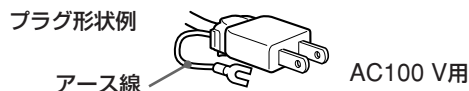
- Macintoshは、Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows®とMS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- IBM PC/ATとVGAは、IBM Corporationの登録商標です。
- VESAとDDC™は、Video Electronics Standards Associationの商標です。
- Adobe、AcrobatはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- ENERGY STAR®マークは、米国環境保護局の商標です。
- この取扱説明書に表記されている上記以外の製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- この取扱説明書では、「®」と「™」については一部表記を省略しています。

使用上のご注意

電源について

付属の電源コードをお使いください。別売りの電源コードをお使いになる場合は、下図のプラグ形状例を参考にしてください。

安全のため、電源コードにはアース線がついています。電源コンセントにプラグを差し込む前に、必ずアース接続を行ってください。電源コードを抜くときは、先にプラグを抜いてからアース線ははずしてください。



アースキャップ及びケーブルキャップは幼児の手の届かないところへ保管する



注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。

万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者にご相談してください。

特に小さいお子様にはご注意ください。

使用・設置場所について

次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

本機は平らな机などの上に置いてください。また机などの端に置いたり、本機の一部が机などからはみ出していると、落下して破損したり、けがをしたりすることがあります。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押ししたり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。

- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたくなくなることがありますが、故障ではありません。

液晶ディスプレイパネルについて

本機の液晶ディスプレイパネルは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのムラが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

これらの点をご了承のうえ、本機をお使いください。

お手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面にふれないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

搬送するときは

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブル等をすべてはずし、ディスプレイを両手でしっかりと持ってください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

壁やマウントアームに取り付けるときは

本機を壁やマウントアームに取り付けて使用する場合は、必ず専門の業者にご相談ください。

また取り付けるときは、本機のバックカバーを取りはずしてください。

廃棄するときは

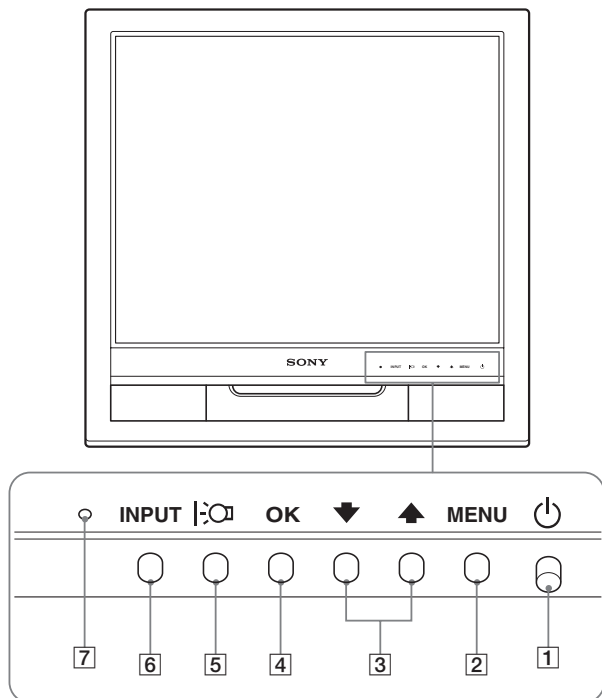
- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中にディスプレイを捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

各部の名前とはたらき

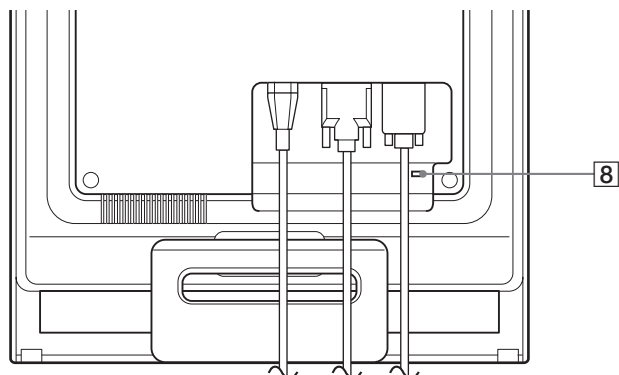
使いかたについての詳しい説明は()内のページをご覧ください。

⏻(電源)スイッチおよび各操作ボタンは、前面右下に配置されています。

ディスプレイ前面



ディスプレイ後面

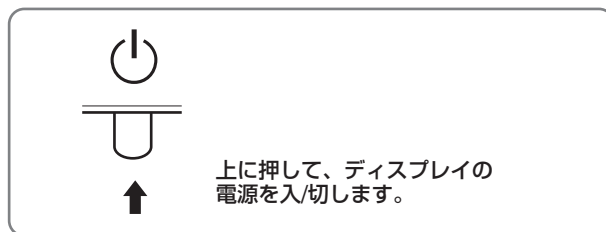


1 ⏻(電源)スイッチとランプ(9、17ページ)

⏻(電源)スイッチを上を押して、ディスプレイの電源を入切します。

電源が入るとランプが緑色に点灯します。

省電力状態のときは、オレンジ色に点灯します。



2 MENU (メニュー)ボタン(11ページ)

メニュー画面を出すときまたは、終了するときを押します。

3 ↓/↑ボタン(11ページ)

メニュー項目を選んだり、調整したりするときに使います。

4 OKボタン(11ページ)

メニュー画面で選択/調整した項目を決定するときを押します。

5 ☀️ ボタン (17ページ)

画面の明るさを切り換えるときに押します。

6 INPUT(入力切替)ボタン (10ページ)

本機に入力される信号を切り換えて、見たいコンピュータを選びます。

7 ブライトセンサー(17ページ)

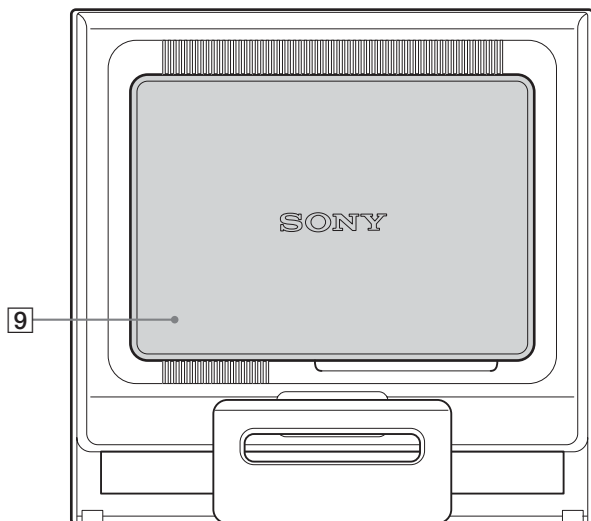
周囲の明るさを検知するためのセンサーです。センサーをおおわないようにしてください。

8 盗難防止用ロック

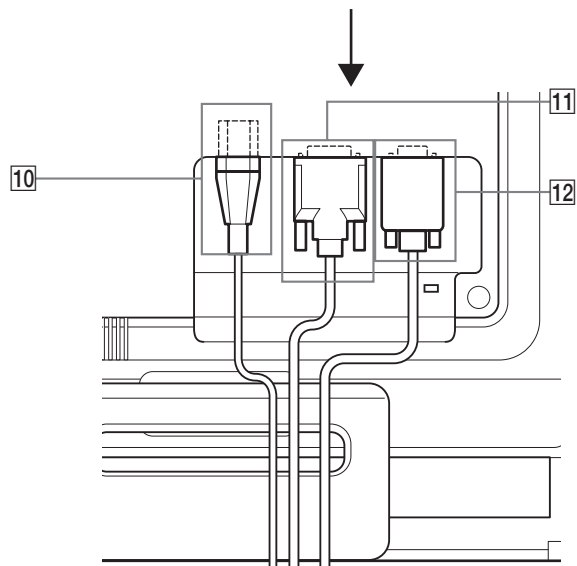
キーケーブルロックなど、市販の盗難防止用ケーブルをつなぐことができます。

盗難防止用ケーブルについての連絡先は、日本ポラデジタル(株)営業部です。

ディスプレイ後面



バックカバーを開ける



9 バックカバー(8ページ)

ケーブルやコードをはずすときに、このカバーを開けます。

10 電源入力端子(8ページ)

付属の電源コードをつなぎます。

11 INPUT1用DVI-D入力端子(デジタルRGB) (7ページ)

DVI Rev.1.0準拠のデジタルRGB信号を入力します。

12 INPUT2用HD15(RGB)入力端子(アナログ RGB)(7ページ)

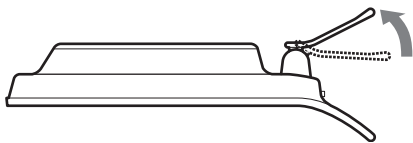
アナログRGBの映像信号(0.7 Vp-p、正極性)と同期信号を入力します。

接続と設定

本機をお使いになる前に、下記のものをご確認ください。

- 液晶ディスプレイ
- 電源コード
- HD15-HD15ビデオ信号ケーブル (アナログRGB)
- DVI-Dビデオ信号ケーブル (デジタルRGB)
- コードストラップ
- CD-ROM (Windows/Macintosh ユーティリティ/取扱説明書など)
- 保証書
- クイックセットアップガイド
- 安全のために
- ソニーご相談窓口のご案内

手順1：スタンドを開く



ご注意

お買い上げ時には、スタンドは折りたたまれています。スタンドを開いてから、ディスプレイを立ててください。スタンドが開かれていないと、ディスプレイが倒れることがあります。

手順2：コンピュータにつなぐ

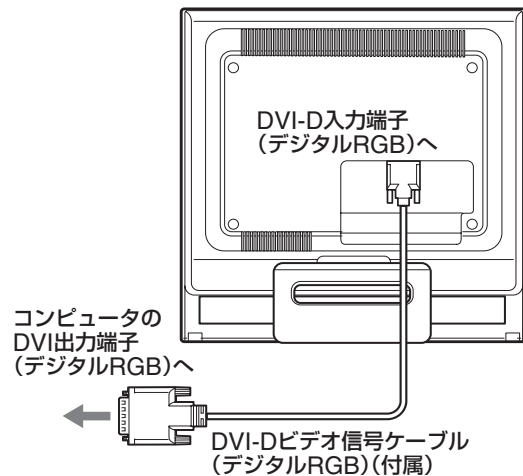
本機とコンピュータの電源を切った状態でつないでください。

ご注意

- ビデオ信号ケーブルのピンに、直接手を触れないでください。
- ビデオ信号ケーブルのピンが曲がることを防ぐため HD15端子の向きをご確認ください。

DVI出力端子(デジタルRGB)のあるコンピュータにつなぐ

コンピュータを本機のDVI-D入力端子(デジタルRGB)に、付属のDVI-Dビデオ信号ケーブル(デジタルRGB)でつなぐ。

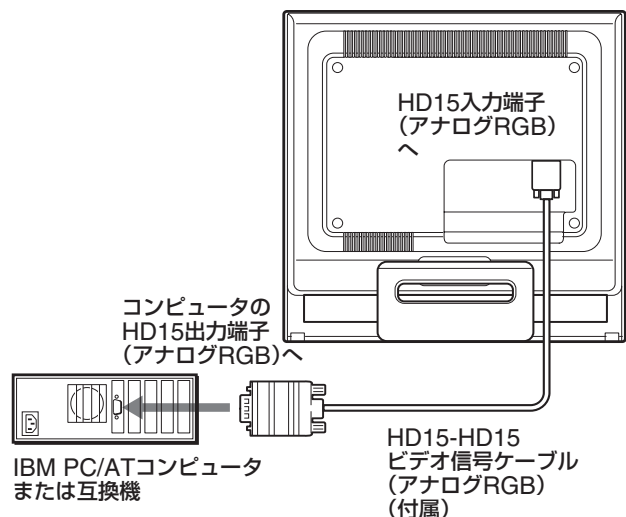


HD15出力端子(アナログRGB)のあるコンピュータにつなぐ

コンピュータを本機のHD15入力端子(アナログRGB)に、付属のHD15-HD15ビデオ入力信号ケーブル(アナログRGB)でつなぐ。

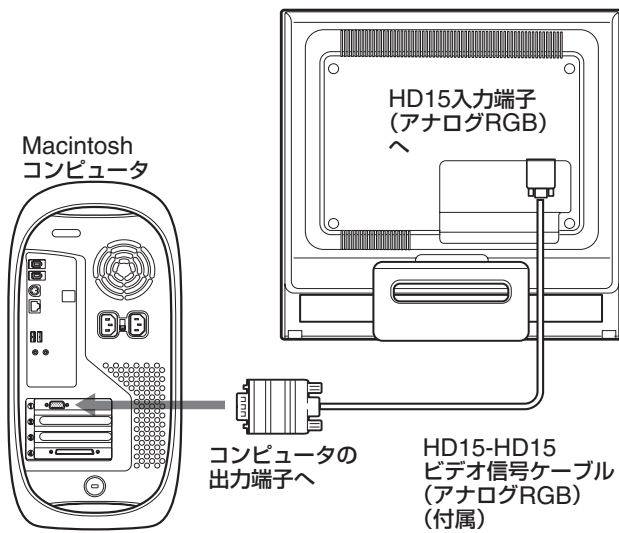
次のイラストから、つなぐコンピュータに合った接続を行ってください。

■ IBM PC/ATコンピュータまたは互換機につなぐとき



■ Macintoshコンピュータにつなぐとき

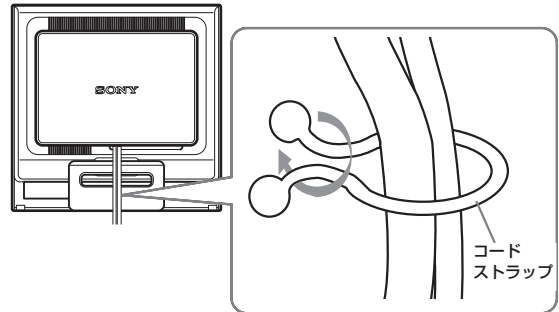
本機をMacintoshコンピュータにつなぐときは、必要に応じてMacintoshアダプタ（市販）をお使いください。ビデオ信号ケーブルをつなぐ前に、Macintoshアダプタをコンピュータにつないでください。



手順4：コード類をまとめてバックカバーを閉める

1 コード類を束ねる。

付属のコードストラップを使って、コード類をまとめてください。

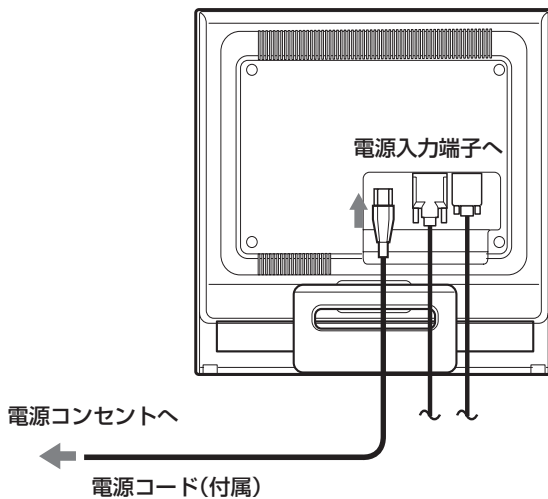


後面イラストはSDM-HS75Pを使っていますが、それ以外の機種でも同じようにしてください。

2 バックカバーを閉める。

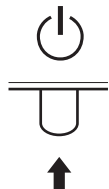
手順3：電源コードをつなぐ

本機とコンピュータの電源を切った状態でつないでください。本機に電源コードをつないでから、電源コンセントへ差し込みます。



手順5：電源を入れる

- 1 電源スイッチを上を押す。
本機の電源ランプが緑色に点灯します。



- 2 コンピュータの電源を入れる。

これで、本機を使用できる状態になりました。必要に応じて、11ページからの設定や調整などを行ってください。

本機の電源を入れても画面に画像が出ないときは

- ビデオ信号ケーブルなどが正しく接続されているか確認する。
- 「NO INPUT SIGNAL」と表示されているとき
コンピュータが省電力状態になっている。キーボードのキーのどれかを押してみるか、マウスを動かしてみる。
- 「CABLE DISCONNECTED」と表示されているとき
ビデオ信号ケーブルが正しく接続されているか確認する。
- 「OUT OF RANGE」と表示されているとき
本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、そのディスプレイにつなぎ換えて、画像が出るか確認する。
画像が出たら、コンピュータで以下の範囲に設定する。

	アナログRGB	デジタルRGB
水平周波数	28～80 kHz	28～64 kHz
垂直周波数	48～75 Hz	60 Hz
解像度	1280 × 1024 以下	1280 × 1024 以下

くわしくは、「本機の症状と対処のしかた」(20ページ)をご覧ください。

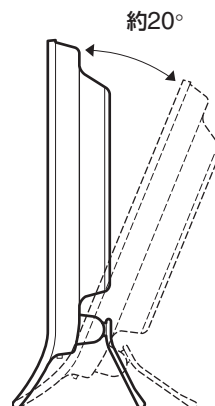
モニタ用のドライバは不要です

本機はプラグ&プレイ機能(DDC)を搭載しており、Windowsのプラグ&プレイ機能によりモニタの情報が自動的に認識されます。このため、モニタ用の特別なドライバは通常不要です。本機とコンピュータをはじめて起動したとき、設定用のウィザードが表示される場合は、その手順に従ってください。プラグ&プレイモニタが自動的に選ばれて、使用できる状態になります。

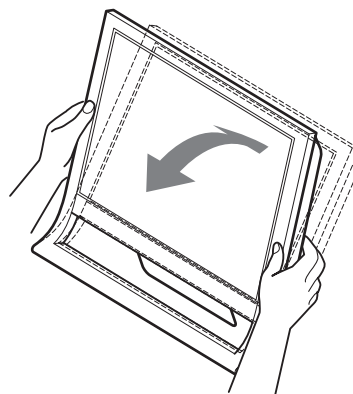
これで自動的に垂直周波数は60 Hzになります。
本機ではちらつきは目立ちませんので、このままの垂直周波数でお使いいただけます。垂直周波数を上げる必要はありません。

ディスプレイの向きを変える

本機にはディスプレイスタンドがついているので、下図の範囲で画面の向きを変えられます。



画面両側の下部を持ち、画面の向きを調整してください。



ディスプレイをより快適にお使いいただくために

本機の画面は、お使いになる方に合わせて見やすい角度に調整できるように設計されています。
お使いになる机や椅子の高さに合わせて、画面が反射しない角度に調整してお使いください。

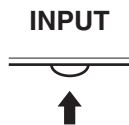
ご注意

画面の向きを調整するときは、ぶつかけたり、ディスプレイが机から落ちないようにご注意ください。

入力を切り換えるには (INPUTボタン)

INPUTボタンを押す。

押すたびに、下表のように入力が切り換わります。



画面表示 (左上に約5秒表示)	以下につないだ入力に 切り換わります。
入力1 : DVI-D	INPUT1用DVI-D入力端子 (デジタルRGB)
入力2 : HD15	INPUT2用HD15入力端子 (アナログRGB)

調整する

調整を始める前に

本機とコンピュータを接続し、両方の電源を入れてください。電源を入れて、30分以上経過してから調整すると、最適な調整ができます。

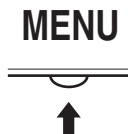
メニューを使って、いろいろな調整や設定ができます。

メニュー操作のしかた

■ MENUボタンと↓/↑ボタン、OKボタンの使いかた

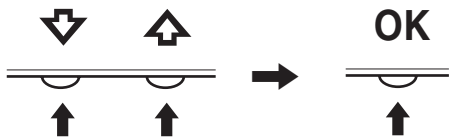
1 メニュー画面を出す。

MENUボタンを押して、メニュー画面を出す。



2 調整したいメニューや項目を選ぶ。

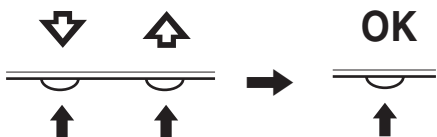
↓/↑ボタンを押して選び、OKボタンを押して決定する。



3 調整する。

↓/↑ボタンを押して調整し、OKボタンを押す。

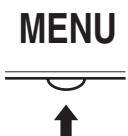
OKボタンを押すと、調整値が設定されて前の画面に戻ります。



4 メニュー画面を消す。

MENUボタンを押すと、メニュー画面が消える。

ボタンを押さなくても、調整後、約45秒たつと自動的に消えます。



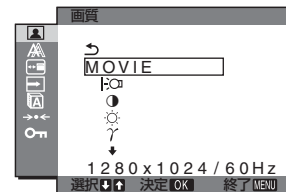
■ 元の状態に戻す

リセット画面を使います。くわしくは、16ページをご覧ください。

画質メニュー

画質メニューでは、以下の項目が調整できます。

- モード (GAME/MOVIE/PC/AUTO)
- バックライト輝度
- コントラスト
- ブライツネス
- ガンマ γ
- 色温度
- シャープネス
- モードリセット



■ モードメニュー

使用目的に合わせて、適切な画面の明るさを調整します。画質調整はモードごとに設定することができます。変更した設定は自動的にそれぞれのINPUT (入力INPUT1/INPUT2) に適応されます。

1 MENUボタンを押す。

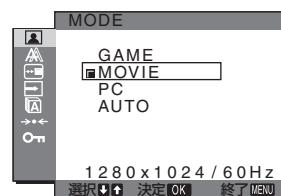
メニュー画面が出ます。

2 ↓/↑ボタンを押して、 (画質)を選び、OKボタンを押す。

画質メニューが出ます。

3 ↓/↑ボタンを押して、「MOVIE」を選び、OKボタンを押す。

MODE画面が出ます。



4 ↓/↑ボタンを押して、希望の設定を選び、OKボタンを押す。

お買い上げ時はMOVIEの設定になっています。



- **GAME**： ブライツネスが強調された明るい映像になります。
- **MOVIE**： コントラストが強調されたクリアな映像になります。
- **PC**： トーンを抑え、落ち着いた映像になります。
- **AUTO**： 周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動的に調整します (自動輝度調整機能)。詳しくは、「自動輝度調整機能 (ブライツセンサー)」(17ページ) をご覧ください。

ご注意

「AUTO」が設定されているときは、「バックライト輝度」「コントラスト」は調節できません。



■ バックライト輝度を調整する

画面が明るすぎると感じるときに調整して、画面を見やすくします。

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して  (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「 バックライト輝度」を選び、OKボタンを押す。
バックライト輝度画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、希望の明るさに調整し、OKボタンを押す。



■ コントラストを調整する

画像の明暗の差 (コントラスト) を調整します。

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して  (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「 コントラスト」を選び、OKボタンを押す。
コントラスト画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、コントラストを調整し、OKボタンを押す。

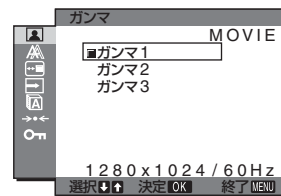
■ ブライツネスを調整する


画像の明るさ (黒レベル) を調整します。

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して  (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「 ブライツネス」を選び、OKボタンを押す。
ブライツネス画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、明るさを調整し、OKボタンを押す。

■ ガンマを調整する γ

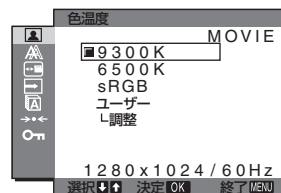
画像の色合いを、オリジナル画像の色合いに近付けられます。





- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して  (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「 γ ガンマ」を選び、OKボタンを押す。
ガンマ画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、希望の設定を選び、OKボタンを押す。

■ 色温度を調整する

画像の白色の度合いを、あらかじめ設定された中から選べます。また、必要に応じて、微調整もできます。





- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して  (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「 色温度」を選び、OKボタンを押す。
色温度画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して希望の色温度を選び、OKボタンを押す。
9300K (お買い上げ時) から6500Kにすると、青みがかかった白色から赤みがかかった白色へと変わります。「sRGB」を選ぶと、sRGBプロファイルの設定になります。(sRGBは、コンピュータどうしの表示や、出力する色を近づけるためのカラースペースの業界標準のひとつです。)[sRGB]を選んだときは、つないでいるコンピュータもsRGBプロファイルの設定にしてください。

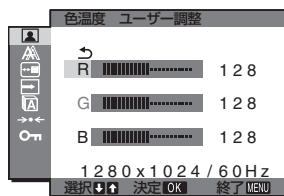
ご注意


- モードメニューで「AUTO」が設定されているとき、「sRGB」は選択できません。
- コンピュータなどの他の接続機器がsRGBに対応していないときは、「sRGB」を選んでもカラー効果はありません。
- 「sRGB」に設定しているとき、「コントラスト」、「ブライトネス」、「ガンマ」の調整はできません。

色温度をさらに微調整するときは

モード (GAME/MOVIE/PC/AUTO)ごとに設定することができます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して  (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して  色温度] を選び、OKボタンを押す。
色温度画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、「調整」を選び、OKボタンを押す。
色温度の詳細設定画面が出ます。



- 5 ↓/↑ボタンで「R」(Red : 赤) または「B」(Blue : 青) を選んでOKボタンを押し、↓/↑ボタンで調整した後、OKボタンを押す。
「G」(Green : 緑) が基準となっており、RやBを増減して色温度を変えるため、Gは固定されています。
- 6 ↓/↑ボタンを押して、 を選び、OKボタンを押す。
新しい調整値が「ユーザー」として設定され、「ユーザー」を選ぶたびに同じ調整値が選ばれます。
色温度メニューに戻ります。



■ シャープネスを調整する

エッジ強調など、鮮鋭度の調整をします。

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して  (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「 シャープネス」を選び、OKボタンを押す。
シャープネス画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、シャープネスを調整し、OKボタンを押す。

■ モードリセットメニュー(それぞれのモード設定をリセットする)

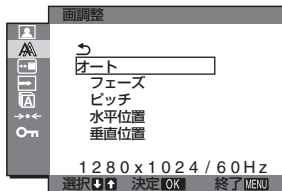
調整した設定を、お買い上げ時の設定に戻します。

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して、 (画質) を選び、OKボタンを押す。
画質メニューが出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して「 モードリセット」を選び、OKボタンを押す。
モードリセット画面が出ます。
- 4 ↓/↑ボタンを押して、希望の設定を選び、OKボタンを押す。
 - OK : 画質メニュー内で設定したそれぞれのモードの調整値をお買い上げ時の設定に戻します。
 - キャンセル : リセットが実行されないまま、画質調整画面に戻ります。

画調整メニュー (アナログRGB信号のみ)

画調整メニューでは、以下の項目が設定できます。

- オート
- フェーズ
- ピッチ
- 水平位置
- 垂直位置



ご注意

INPUT1用DVI-D入力端子のデジタルRGB信号は、調整不要です。

自動画質調整機能

本機は、信号を受信したときに、自動的に画像の位置と鮮明さ(フェーズ/ピッチ)を調整して、最適な画像を表示します(18ページ)。

ご注意

自動画質調整機能が働いている間は、 \odot (電源)スイッチ以外は操作できません。

自動画質調整機能で完全に調整されていないと感じたときは

現在入力中の信号に合わせて再度自動で調整し直せます(下記の「オート」)。

微調整したいときは

手動で、鮮明さ(フェーズ/ピッチ)や位置(水平位置/垂直位置)を調整し直せます。

「オート」や「フェーズ/ピッチ」、「水平位置/垂直位置」で設定した調整値は記憶されて、同じ信号が入力されると、記憶した調整値になります。

現在入力中の信号に合わせて自動で調整し直す(オート)

- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 \downarrow/\uparrow ボタンを押して \mathbb{A} (画調整)を選び、OKボタンを押す。
画調整メニューが出ます。
- 3 \downarrow/\uparrow ボタンを押して「オート」を選び、OKボタンを押す。
フェーズ、ピッチ、水平位置、垂直位置の設定を、現在入力されている信号に最適な調整値にして、その調整値を記憶します。

手で鮮明さを調整し直す(フェーズ/ピッチ)

文字や画像が鮮明でないときに調整します。HD15入力端子(アナログRGB)につないでいるときに調整できます。

- 1 解像度をコンピュータ側で1280×1024に設定する。
- 2 CD-ROMを入れる。
- 3 CD-ROMを起動して、地域とモデルを選んで、テストパターンを表示する。

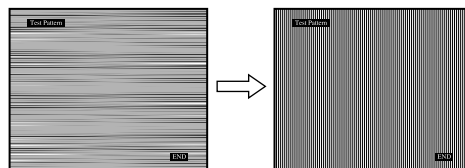
Windowsの場合

[Utility]→[Windows]/[Win Utility.exe]の順にマウスでクリックする。

Macintoshの場合

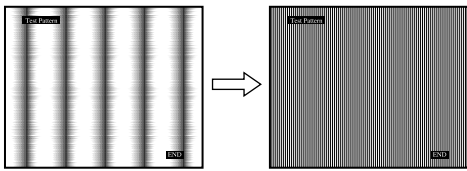
[Utility]→[Mac]/[Mac Utility]の順にマウスでクリックする。

- 4 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 5 \downarrow/\uparrow ボタンを押して \mathbb{A} (画調整)を選び、OKボタンを押す。
画調整メニューが出ます。
- 6 \downarrow/\uparrow ボタンを押して、「フェーズ」を選び、OKボタンを押す。
フェーズ調整画面が出ます。
- 7 \downarrow/\uparrow ボタンで、横縞が最少になるように調整する。
テストパターンの横縞が最少になるように調整します。



- 8 OKボタンを押す。
メニュー画面に戻ります。
画面全体にまだ縦縞が見られるときは、続いてピッチ調整を行います。
- 9 \downarrow/\uparrow ボタンを押して、「ピッチ」を選び、OKボタンを押す。
ピッチ調整画面が出ます。

- 10 ↓/↑ボタンで、縦縞がなくなるように調整する。
テストパターンの大きな縦縞がなくなるように調整します。



- 11 画面上の[END]をマウスでクリックして、テストパターンを消す。

■ 手で画像の位置を調整し直す(水平位置/垂直位置)

画像が画面のまん中に出ないときに、調整します。


- 1 解像度をコンピュータ側で1280×1024に設定する。
- 2 CD-ROMを入れる。
- 3 CD-ROMを起動して、地域とモデルを選んで、テストパターンを表示する。

Windowsの場合

[Utility]→[Windows]/[Win Utility.exe]の順にマウスでクリックする。

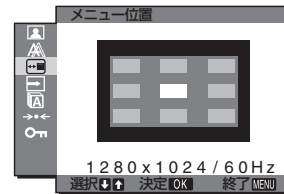
Macintoshの場合

[Utility]→[Mac]/[Mac Utility]の順にマウスでクリックする。

- 4 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 5 ↓/↑ボタンを押して  (画調整)を選び、OKボタンを押す。
画調整メニューが出ます。
- 6 ↓/↑ボタンを押して、「水平位置」または「垂直位置」を選び、OKボタンを押す。
水平位置画面または垂直位置画面が出ます。
- 7 ↓/↑ボタンを押して、テストパターンの外周の枠が全部、画面に入るように調整する。
- 8 画面上の[END]をマウスでクリックして、テストパターンを消す。

☐ メニュー位置メニュー

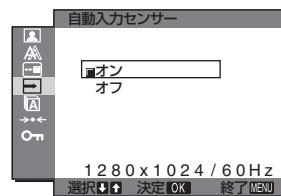
メニュー画面に隠れた部分を見るときなどに、メニューの表示位置を変えられます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して、☐ (メニュー位置)を選び、OKボタンを押す。
メニュー位置画面が表示されます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、希望の設定を選び、OKボタンを押す。
9か所があらかじめ設定されています。

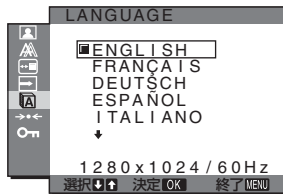
☐ 自動入力センサーメニュー

自動入力センサーをオンに設定すると、入力端子への入力信号があるかを自動的に検知し、省電力状態になる前に、入力を自動的に切り換えることができます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して、☐ (自動入力センサー)を選び、OKボタンを押す。
自動入力センサー画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、希望の設定を選び、OKボタンを押す。
 - オン：選んでいる入力端子への入力信号がないときや、本体のINPUT (入力切換) ボタンで入力信号がない入力端子を選んだときは、画面に表示メッセージ (18ページ) が出て、他の入力端子への入力信号があるかを自動的に確認し、入力を自動的に切り換えます。
 - オフ：入力は自動的に切り換わりません。INPUT (入力切換) ボタンを押して、入力を切り換えてください。

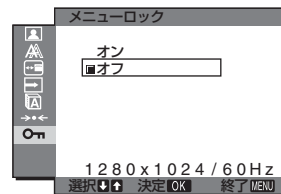
A 言語選択メニュー



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して、**A** (言語メニュー)を選び、OKボタンを押す。
言語メニュー画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、言語を選び、OKボタンを押す。
 - ENGLISH：英語
 - FRANÇAIS：フランス語
 - DEUTSCH：ドイツ語
 - ESPAÑOL：スペイン語
 - ITALIANO：イタリア語
 - NEDERLANDS：オランダ語
 - SVENSKA：スウェーデン語
 - РУССКИЙ：ロシア語
 - 日本語
 - 中文：中国語

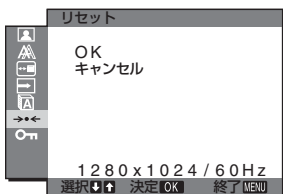
メニューロック

本機の調整や設定を変えられないように、ボタン操作をロックできます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して、**メニューロック** (メニューロック)を選び、OKボタンを押す。
メニューロック画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、「オン」または「オフ」を選ぶ。
 - オン：⏻ (電源) スイッチとINPUTボタン以外は、「**メニューロック**」マークが出て操作できなくなります。
 - オフ：「オン」を解除するときに選びます。「オン」のときにMENUボタンを押すと、**メニューロック** が自動的に選択されます。

リセットメニュー (お買い上げ時の設定に戻す)



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が出ます。
- 2 ↓/↑ボタンを押して、**リセット** (リセット)を選び、OKボタンを押す。
リセット画面が出ます。
- 3 ↓/↑ボタンを押して、希望の設定を選び、OKボタンを押す。
 - OK：すべての調整値をお買い上げ時の設定に戻します。ただし、**A** (言語選択メニュー) の設定はリセットされません。
 - キャンセル：リセットが実行されないまま、メニュー画面に戻ります。

機能解説

省電力機能 (パワーセーブ機能)

本機は、VESA、NUTEKおよびENERGY STARのパワーセービングガイドラインに対応しています。アナログ入力ではDPMS (Display Power Management Standard)、デジタル入力ではDMPM (DVI Digital Monitor Power Management) に対応しているコンピュータやグラフィックボードにつながると、操作をしていないときは自動的に次のような省電力状態になります。

SDM-HS75P

本機の状態	消費電力	⏻ (電源) ランプ
通常動作時	45 W (最大)	緑点灯
アクティブオフ* (ディープスリープ) **	1.0 W (最大)	オレンジ点灯
⏻ (電源) : 切	1.0 W (最大)	消灯

SDM-HS95P

本機の状態	消費電力	⏻ (電源) ランプ
通常動作時	60 W (最大)	緑点灯
アクティブオフ* (ディープスリープ) **	1.0 W (最大)	オレンジ点灯
⏻ (電源) : 切	1.0 W (最大)	消灯

* コンピュータが省電力状態になると、信号が入力されなくなるため、アクティブオフ状態になる前に「NO INPUT SIGNAL」と表示が出ます。約5秒後、本機も省電力状態になります。

** 「ディープスリープ」は、EPA (Environmental Protection Agency) の定めた待機時の消費電力抑制状態です。

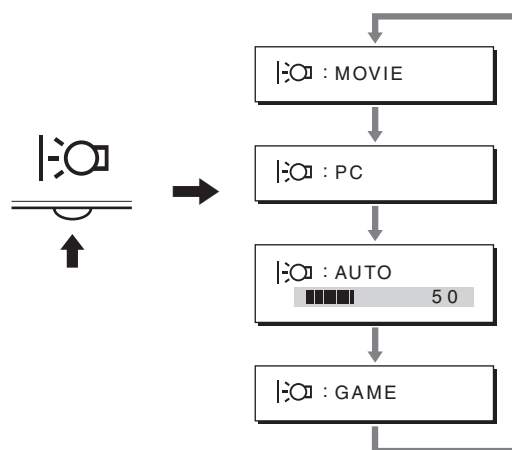
モード (画質) の切り換えを行う

本機前面下側にある MODE ボタンをくり返し押すと、モードがMOVIE→PC→AUTO→GAMEの順番に設定できます。「AUTO」を選ぶと、周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調整します (自動輝度調整機能)。詳しくは、「自動輝度調整機能 (ブライトセンサー)」をご覧ください。

MODE ボタンをくり返し押す。

お買い上げ時の状態では、モードは「MOVIE」に設定されています。1回押すと、「MOVIE」(お買い上げ時の状態)が表示され、もう1回押すと、「PC」が表示されます。

押すたびに次のように切り換わります。



各設定が表示されて、モードが変わります。表示は約5秒後に消えます。

自動輝度調整機能 (ブライトセンサー)

本機には、周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動調整する機能があります。本機前面下側の MODE ボタン、またはMENUの画質メニューで、モードを「AUTO」にすることにより、画面の明るさを自動的に最適な状態に調整します。お買い上げ時の状態では、画面の明るさは「MOVIE」に設定されています。さらに、 MODE ボタンから、モードを「AUTO」に設定したときに表示される調節バーを \downarrow/\uparrow ボタンで変更することにより、お好みに応じた自動調整のレベル(明るめ、暗めなど)を調整可能範囲内において設定することができます。

自動画質調整機能 (アナログRGB信号のみ)

本機は、信号を受信したときに、自動的に画像の位置と鮮明さ(フェーズ/ピッチ)を調整して、最適な画像を表示します。

お買い上げ時に設定されている表示モード

本機には、入力信号に合わせて最適な画質で表示できるように、代表的な表示モードがお買い上げ時に設定されています。信号が表示モードと同じであれば、自動的にあらかじめ設定された最適な調整値で表示されます。

表示モード以外の信号のときは

下記の周波数の間であれば、信号をはじめて受信したときに自動画質調整機能が働いて、きれいな画像を表示します。

水平周波数：28～80 kHz

垂直周波数：48～75 Hz

信号をはじめて受信したときには、画面表示までに通常より時間がかかることがあります。この調整値は自動的に本機に記憶され、次からは表示モードの信号と同様に動作するようになります。

手動でフェーズやピッチ、画像の位置を調整したときは

入力信号によって自動調整機能だけでは完全に調整できないときは、手動で調整できます(14ページ)。手動で調整すると、すべての表示モードにおいて、手動で調整した調整値がユーザーモードとして記憶され、同じ信号が入力されるたびに、その調整値が選ばれるようになります。

ご注意

自動画質調整機能が働いている間は、 \odot (電源)スイッチ以外は操作できません。

故障かな?と思ったら

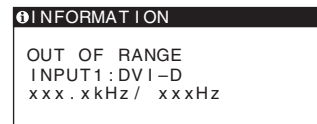
お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

表示メッセージについて

入力信号が正しくないときは、画面に次のような表示メッセージが出ます。この場合は、次ページの「本機の症状と対処のしかた」に従ってください。

OUT OF RANGE と表示されている場合

入力信号の周波数が、本機の仕様に合っていません。以下を確認してください。



xxx.x kHz / xxx Hz と表示されている場合

水平または垂直周波数が、本機の仕様に合っていません。

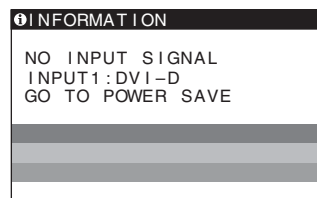
数字の部分に現在入力されている信号の水平/垂直周波数が表示されます。

RESOLUTION > 1280×1024と表示されている場合

解像度が、本機の仕様(1280×1024)に合っていません。

NO INPUT SIGNAL と表示されている場合

ビデオ入力端子からの入力信号がありません。

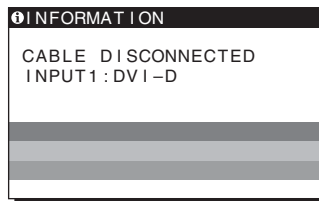


GO TO POWER SAVE

このメッセージが表示されてから約5秒後に省電力状態に入ります。

CABLE DISCONNECTED と表示されている場合

ビデオ信号ケーブルがはずれています。



本機の症状と対処のしかた

コンピュータなど本機に接続している機器が原因の場合は、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

こんなときは 原因と対処のしかた

画像が出ない。

⏻(電源)ランプが点灯していない。または、⏻(電源)スイッチを押しても⏻(電源)ランプが点灯しない。

- 電源コードをつなぎ直す。

「CABLE DISCONNECTED」という警告表示が出ている。

- ビデオ信号ケーブルを正しくつなぐ(7ページ)。
- ビデオ信号ケーブルのピンが曲がっている。まっすぐに直すか、別のケーブルを使う。
- 付属品ではないビデオ信号ケーブルを使っている。付属品ではないビデオ信号ケーブルを使っていると、省電力状態になる前に「CABLE DISCONNECTED」と表示が出る場合があります。故障ではありません。

「NO INPUT SIGNAL」という警告表示が出ている。または、⏻(電源)ランプがオレンジ色に点灯している。

- ビデオ信号ケーブルを正しくつなぐ(7ページ)。
- ビデオ信号ケーブルのピンが曲がっている。まっすぐに直すか、別のケーブルを使う。

■本機以外(コンピュータなど)が原因の場合

- コンピュータが省電力状態になっている。キーボードのキーのどれかを押してみるか、マウスを動かしてみる。
- コンピュータのグラフィックボードが正しくバススロットに差し込まれているか確認する。
- コンピュータの電源を入れる。
- コンピュータを再起動する。

「OUT OF RANGE」という警告表示が出ている。

■本機以外(コンピュータなど)が原因の場合

- 入力信号の周波数が、本機の仕様に合っていない。本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、そのディスプレイにつなぎ換えて、画像が出るか確認する。画像が出たら、コンピュータで以下の範囲に設定する。
水平周波数：28～80 kHz(アナログRGB)、28～64 kHz(デジタルRGB)
垂直周波数：48～75 Hz(アナログRGB)、60 Hz(デジタルRGB)
解像度：1280 x1024 以下

Windowsを使用していてディスプレイをつなぎ換えたとき

- 本機をつなぐ前につないでいたディスプレイがあるときは、そのディスプレイにつなぎ換えて、画像が出るか確認する。画像が出たら、Windowsのデバイス選択画面で製造元にSONYを選び、本機の型名(SDM-HS75PまたはSDM-HS95P)を選ぶ。本機の型名が表示されないときは、「プラグ アンド プレイ」を選ぶ。

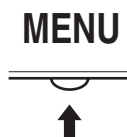
Macintoshとつないでいる。

- 市販のMacintoshアダプタを使っているときは、Macintoshアダプタとビデオ信号ケーブルを正しくつなぐ(8ページ)。

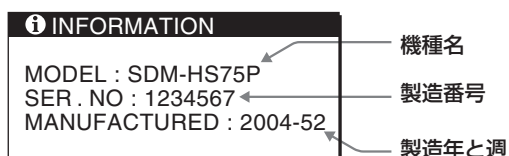
こんなときは	原因と対処のしかた
画像が乱れる、ゆれる、ちらつく。	<ul style="list-style-type: none"> ピッチとフェーズを調整する(アナログRGB信号のみ)(14ページ)。 離れたところにある他の電源につないでみる。 <p>■本機以外(コンピュータなど)が原因の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータのグラフィックボードで、本機が正しく設定されているかを確認する。 入力信号のグラフィックモード(VESA、Macintosh 19"カラーなど)と周波数が、本機で使用できる範囲かを確認する。ただし本機で使用できる範囲でも、グラフィックボードによっては同期パルス幅が合わないため、きれいに画像を映せないことがあります。 コンピュータのリフレッシュレート(垂直周波数)を、最適な画面になるように設定する。
画像がくっきりしていない。	<ul style="list-style-type: none"> コントラストやブライトネスを調整する(12ページ)。 ピッチとフェーズを調整する(アナログRGB信号のみ)(14ページ)。 <p>■本機以外(コンピュータなど)が原因の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータで解像度をSXGA(1280×1024)に設定する。
画像が二重、三重になる。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオ信号ケーブルの延長コードやインプットセレクタの使用をやめる。 接続ケーブルを端子にしっかりと差し込む。
画像の位置がずれている、または画像の大きさが正しくない。(アナログRGB信号のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ピッチとフェーズを調整する(14ページ)。 画像の位置を調整する(15ページ)。入力信号やグラフィックボードによっては、画像が画面全体に広がらないことがあります。
画像が小さい。	<p>■本機以外(コンピュータなど)が原因の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータで解像度をSXGA(1280×1024)に設定する。
画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> ブライトネスを調整する(12ページ)。 バックライトを調整する(12ページ)。 電源を入れたあと、画面が明るくなるまでしばらく時間がかかります。 モードを「AUTO」に設定していて、周りの明るさが暗いとき、画面が暗くなることもあります(11、17ページ)
画面に波模様や縦縞が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ピッチとフェーズを調整する(アナログRGB信号のみ)(14ページ)。
色むらがある。	<ul style="list-style-type: none"> ピッチとフェーズを調整する(アナログRGB信号のみ)(14ページ)。
白色が白く見えない。	<ul style="list-style-type: none"> 色温度を調整する(12ページ)。
本機のボタンが働かない。(Onマークが画面に出る)	<ul style="list-style-type: none"> メニューロック機能が「オン」になっている。「オフ」にする(16ページ)。
しばらくすると、ディスプレイの電源が切れてしまう。	<p>■本機以外(コンピュータなど)が原因の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> コンピュータの省電力設定をオフにする。
メニュー画面上の解像度表示が正しくない。	<ul style="list-style-type: none"> グラフィックボードの設定によっては、メニュー画面上の解像度表示とコンピュータでの設定が一致しないことがあります。

本機の情報(インフォメーション)を表示する

信号を入力しているときに、INFORMATION画面が出るまでMENUボタンを5秒以上押し続けます。もう一度、MENUボタンを押すと消えます。



例：



故障のときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。また、お問い合わせのときは次のことをお知らせください。

- 型名：SDM-HS75PまたはSDM-HS95P
- 製造番号：
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：
- 接続しているコンピュータ、およびグラフィックボードの仕様と名称：

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

- ▶ 「故障かな?と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

- ▶ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

- ▶ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

- ▶ 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、コンピュータディスプレイの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

保有期間が経過した後も、故障箇所によっては、修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：SDM-HS75PまたはSDM-HS95P

製造番号：

故障の状態：できるだけくわしく

購入年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This display is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

SDM-HS75P

LCDパネル	a-Si TFT アクティブマトリックス 画面サイズ：17インチ(43 cm)
入力信号フォーマット	RGB動作周波数* 水平：28～80 kHz(アナログRGB) 28～64 kHz(デジタルRGB) 垂直：48～75 Hz(アナログRGB) 60 Hz(デジタルRGB)
解像度	水平：最大1280ドット 垂直：最大1024ライン
入力信号レベル	RGB信号： 0.7 Vp-p、75 Ω、正極性 同期信号： TTLレベル、2.2 kΩ、極性自由 (水平/垂直分離) デジタルRGB(DVI)信号： TMDS(Single link)
電源電圧	使用電源： AC100～240 V/50～60 Hz、 1.0 A(最大) 消費電力量： 45 W(最大)
動作温度	5～35°C
最大外形寸法(幅/高さ/奥行き)	ディスプレイ(正立状態)： 約388×382.5×139.2 mm
質量	約5 kg
プラグ&プレイ機能	DDC2B
同梱品	7ページをご覧ください。

SDM-HS95P

LCDパネル	a-Si TFT アクティブマトリックス 画面サイズ：19インチ(48 cm)
入力信号フォーマット	RGB動作周波数* 水平：28～80 kHz(アナログRGB) 28～64 kHz(デジタルRGB) 垂直：48～75 Hz(アナログRGB) 60 Hz(デジタルRGB)
解像度	水平：最大1280ドット 垂直：最大1024ライン
入力信号レベル	RGB信号： 0.7 Vp-p、75 Ω、正極性 同期信号： TTLレベル、2.2 kΩ、極性自由 (水平/垂直分離) デジタルRGB(DVI)信号： TMDS(Single link)
電源電圧	使用電源： AC100～240 V/50～60 Hz、 1.0 A(最大) 消費電力量： 60 W(最大)
動作温度	5～35°C
最大外形寸法(幅/高さ/奥行き)	ディスプレイ(正立状態)： 約435×418×146 mm
質量	約6 kg
プラグ&プレイ機能	DDC2B
同梱品	7ページをご覧ください。

* 推奨周波数タイミング

- 水平同期幅率：水平周波数のタイミングの合計の4.8%以上、
または0.8 μsのどちらか大きい方
- 水平ブランキング幅：2.5 μs以上
- 垂直ブランキング幅：450 μs以上

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。